



ケイコちゃん

また

帰って来たの

ちよつと待て

何

その言い方

.....

?

!

髪

切ったね

!

うん

ママ

お帰り

パパも

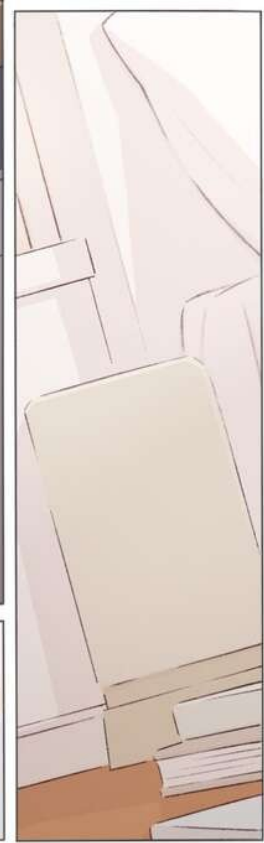
あら

また帰って来たの

ちよつと

何それ

ケイコちゃんは



サトシ



うん



そっち

行っていい？



家に

帰ってきます



そして

必ず

週に一度は



僕に

いっぱい

キスをしてくれます



キスをする前に

いつも

僕の耳や

顔を

やさしく

舐めてくれて



それが

すごく

気持ち良くて

思わず

声が

出そうになると



そのタイミングを

待っていたかのように

唇を重ねてきて

そのままゆっくりと

舌を入れてきます

ケイコちゃんの

舌と唾液で

僕の口の中は

いっぱいです



ケイコちゃんは

嬉しそうに

その舌を吸い返してきて

...



必死になって

自分からも

舌を出すと



はい



だよ

そうだよ

飲めるよね

...



お口

開けて

そう

飲んで...



そう

だよ

おっぱいは

そんなに好き?



おっぱい

好き?

好き

うん



サトシの方から

欲しかったもんね

それは

本当です



うん

なる



おっぱい

欲しくなる?



そうだよ

それが

普通だよ

欲しくなるよ

少

しだけ



そう

フフ

いいよ

いっぱい

舐めて

お話を

過去に

廻らせて
ください

サトシ

家の子に
なるの？

ケイコは

サトシ君より

ずーっと

年上なんだから

ちょっと

そうだぞ

だから

ちゃんと

ずーっと

だけ余計！

でも本当じゃない

そうです

僕は

ケイコちゃんの

本当の弟

ではないんです

もお！

ハハハ

今でも

ケイコちゃん
のことを

お姉ちゃん

とは

呼ばずにいる

というわけです

その日の夜

サトシ

入って

いい？



!



どうしたの？

ケイコちゃん



パパと
ママ

あれ

始めちゃったの

ここぞ

寝かせてよ



うん

いい

けど



でもさ

おじさんと

おばさん

仲がいい

って

ことだよ

だからさ



そんな事が

何日か続いた

...

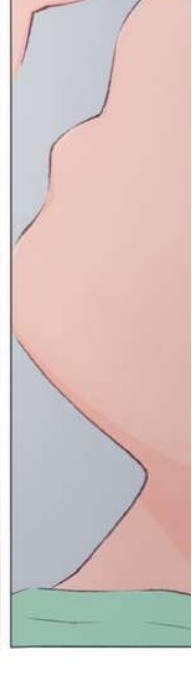
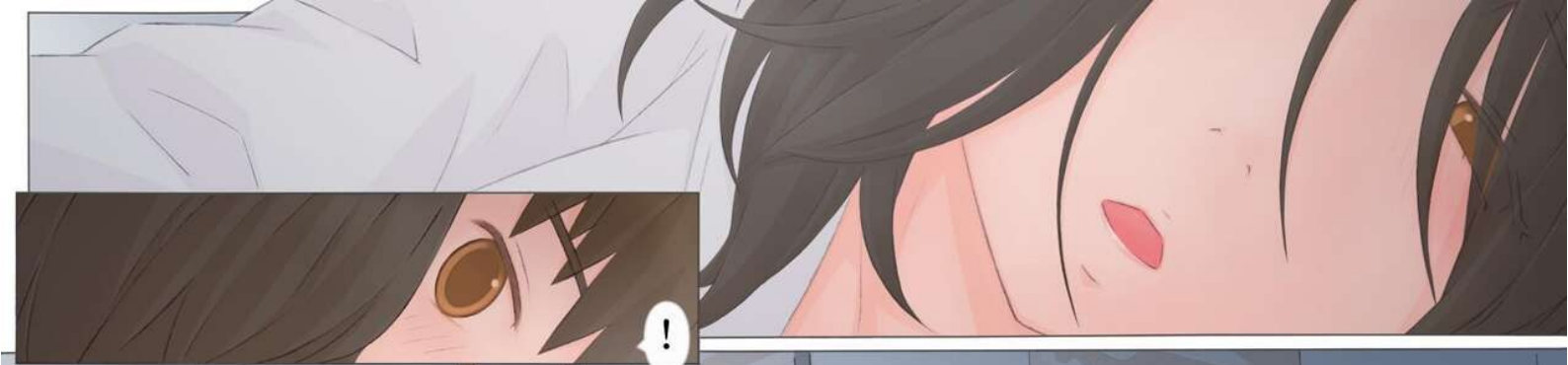
ある日

!



僕





お話を

元の時間に

戻しますね

眠くなつて

きちゃった

サトシ

ごめん

もっと

おっぱい

欲しかった？

ケイコちゃん

すごく

いい匂い...

うん

ごめんね

お姉ちゃんから

誘ったのに

私...

悪い女だね

え

フフ♥

そう...

一週間後

うん



じゃあね
ケイコ

またね

うん

また

勉強中？

本
読んでるの？

好きだね

これよりも

本

好き？

サトシ

今日来てた

お姉さん達の中で

...

こういうこと

してみたい人

いた？

なんで

そんな事

聞くの

いない

だよね

そうだよね

いらないよね

そんな人

サトシ

おちんちん

舐めてあげる

フェラチオ

してあげる

この時

僕は

え

あ

えっと

少し戸惑うような

態度をとったけれど

本当は

う

うん

して

欲しい

かな

恥ずかしい？

ううん

平気

嬉しくて

仕方ありませんでした

あ……

ケイコちゃんの舌が

僕の

僕のアそこに

触れた瞬間の

感覚を

どう

表現したら

いいのか

……



ケイコ

サトシ

ご飯よ

!



夢を

まるで



見ているような

お



...

うん



行かなきゃ

ね



うわー

美味しそう



んー

おいし♡

...



あなたも

料理

出来るようになりなさい

はい♡

いただきます

...

おいし



サトシの

おいし♡

おちんちん

おいし♡



もつと
して

え
ケイコちゃん
もつと



...

うん

そして



続き
しよ

この
続き



サトシに好きな人が
いなかったら

その時

来週
も
私が帰ってきて

サトシ・・・
もし

ケイコちゃんは

帰って来ました

いつものように

一週間が過ぎて

あつと言う間に

サトシ

ただいま

うん

お帰り





サトシ

誰か

好きな人

できた？



そんなの

できるわけ

ないよ



だよね

そうだよね

それが

普通

だよね

ごめんね

お姉ちゃん

いつも

自分勝手に

そして

その日



すごい♡

かたあい♡

気持ちいい？

いやらしい子だな♡

だ

だって

...

セックス

しよ

サトシ

ベッド

行こ

うん

気持ちいい

僕は

ケイコちゃんと





早く!

サトシも

脱いで

そうだね

ご

ごめ

本当に



あ

もう

脱がせてあげる

夢のような

う

うん

初めての

セックスをしました



時間でした

おっきい...

この前より

それは

本当に



おっきいかも

え

そう

なの





そんな事言って

女の人なら誰でも

良かったんじゃない？

違うよ！

僕は

僕は

ケイコちゃん

だけ



ほんとう？

嬉しいよ

ご褒美♡

嬉しい？

うん

嬉しい

……

サトシ



入れちゃう♡

どうして

僕は



こんなにも

え

あ

ケイコちゃんの
事が

あ……

あ



大好き

あ

あ♡

なんだろう

ケイコ

ちゃ

あ



フフ♡

入った♡

入れちゃった



いきそうになったら

イっていいよ

そのまま

イっていいから

わかった?

お姉ちゃんが

気持ちよく

してあげるから



う

うん

わか



ただ

今は

った

は

あ

あ



ダメよ

気持ち良くても

おっきい声

出しちゃダメよ

いい？

う

うん

この

幸せな時間が

わかった

いい子ね

フフ

ほんと

私

なくなつたね

元気

なんで

...



もう
元気になった
……
お姉ちゃんの触り方
どう?



え
気持ち
良くなかった?
そんなこと
ない
ないよ



ほんと?
初めて
だもんね



すごく
いい



キス
しょ♡
うん



仕方ないか♡
あ……
ケイコ
ちゃん……
永遠に



僕の
ケイコちゃん どうして
気持ちいいとこ
わかるの



キス好き?
うん
あっ



気持ち
いいんだね
続いて欲しい



何も

考え

られなく

なる

今度は

中で出せるかな

もう一度

してみる?

うん

その前に

お姉ちゃんの事も

気持ち良くしてみて

どう

するの?

教えてあげる

ここを

フフ

手なら

イケたね

飲んじゃった

気持ち良さそうな顔





帰って

くるかも

はい

どうぞ

いつでも

帰ってきて



こっちは

また

しばらくの間

こっちに...

っていうか

それよりも

ケイコ



サトシのこと

あの子

まだ

友達もないみたいだし

心配になっちゃって



だから

お願いね

ケイコ

仲良く

してあげて

どうしても

パパとママ

じゃ

...



大丈夫

大丈夫だよ

ママ

安心して

私達

とっても



仲が

いいの

その夜

私達は

また

愛し合った

なあに？

くすぐりたい？

可愛い……

じゃあ

これは？

フフ

これは

どうかな？

あっ……

気持ち

いい

……

サトシの反応が

うん

少し

それ

うん

好き



サトシ

...



おいで

入れて

なんて

素直なの



うん

あっ

えっと



だから

お姉ちゃんが

手伝ってあげる

あ

優しく

してあげたくなる

なる



あ...

あ

そう

そのまま

...

ゆっくり

そう

ほら♡

お姉ちゃんが

上に

なるっか？

入ったあ

大丈夫

でき

る

だ

動いてみて

出来る？

あ♡

そう

そう♡

いいよ...

ケイコちゃん

僕

ケイコちゃんところ

ずっと

前から

オナニーする時も

ケイコちゃんの事

考えてた

なりたかった

なによ

その告白

もう♡

笑っちゃう



嬉しい

でも

サトシ

チュー

して



♡



うん

大好き

お姉ちゃんのこと

好き?

サトシ

ダメよ

サトシ

腰

動かして

ほんと?

フフ

もっと



そう

そう

もっと♡

こお?

これで

いい?

キッ!



うん

うれ

うん

お姉ちゃんと

セックス出来て

嬉しい?

こいよ

いいよ

私の期待した言葉が

返ってくる

おっぱい

吸って

吸って



ケイコちゃん

僕

イクの?

いきそうなの?

あー



いいよ

行って

中に

出して

いいから



ケイコ
ちゃん？

...

...

サトシ

うん

すごく
気持ち良かった

いった？

サトシ

そっか



うん

いい

好き

ほ

ん

かわいいよ

サトシ

次は

だと思った...



気持ちいいでしょ

好き?

フフ

どお?

これ



こう

して...





ケイコちゃん

さっきの

もっと

ダメ

何をするかは

お姉ちゃんが

決めるの



お姉ちゃん

意地悪?

全部

決められたら

サトシも

頭にくる?



頭に
なんて

こない
よ

ケイコちゃん

口で

して欲しい

...



お姉ちゃん

優しいでしょ

優しいよね

素直ないい子には

優しくなれるの



サトシ

...

入れたく

なっちゃった



ず!!

ず!!

ずっと

前からね

犯しちゃおうって

思ったことも

あるの

かわいいって

お姉ちゃん

サトシのこと

思ってたよ

わかってね

だから

絶対わかってない

フフ♥

もう

わかった

うん

してあげるから

気持ちよく

いっぱい

愛してるのは

サトシだけのの



うん

そうだね

もっと寝てなよ

お姉ちゃんは

寝ちゃってた

いつの間にか

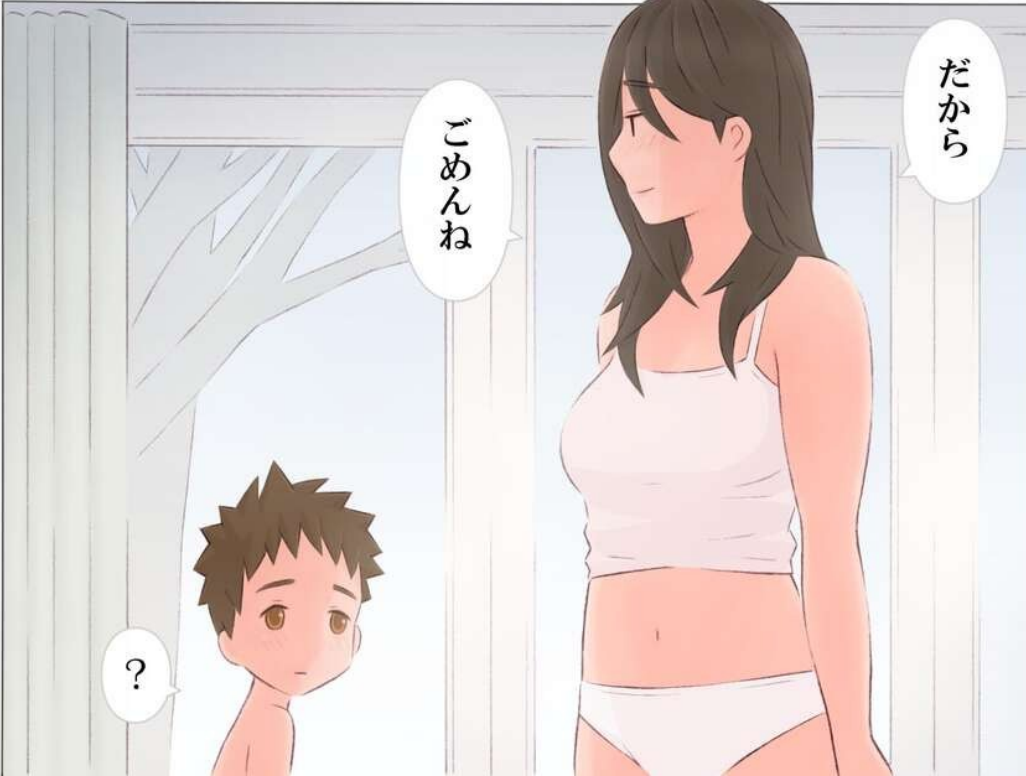


おはよ♥

起こしちゃったかな

ケイコちゃん

...



ごめんね

?



うん

...



自分の部屋に

戻るよ

だから



あ

.....



お姉ちゃんが

手伝ってあげても

いいよ

お姉ちゃんは

いいよ

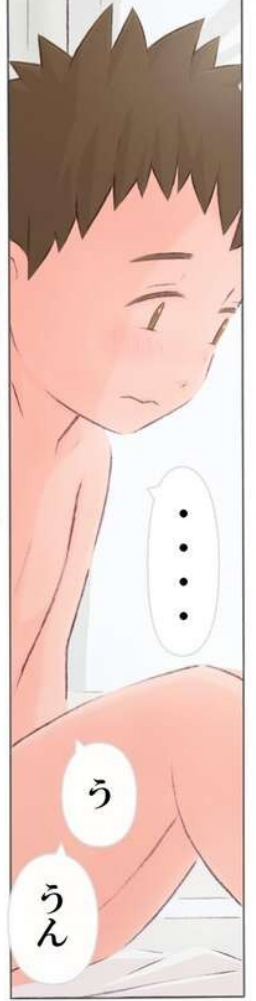
どうするの？



その

おっきくなったおちんちん

自分でなんとかかしてね



.....

う

うん



サトシ



どうするの

答えて



気持ちいい？

うん

気持ち

いい

サトシ

.....

しちやおうか

.....うん

END



皆様こんにちは。ぽんふあーずです。

作品を購入していただき、ありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

作品に対しての評価・コメント、ありがとうございます。

とてもありがたいです。

また、作品のタイトルを考える事や、作品内容を紹介する文章を考える事が苦手なので、レビューを書いていただくのはとてもありがたく嬉しいです。

次作は秋頃までに完成させることが出来ればいいな、と考えてはいます。